

市民活動の現状に関するアンケート 結果報告

新型コロナウイルス感染症の影響が 3 年を経とうとしています。その間、団体活動の休止延期等を余儀なくされ甚大な影響を受けたと思われます。2019 年度にアンケートを実施させていただき、今回で 4 回目となります。

そこで、改めて市民活動団体の現状や変化についてアンケートを実施し、その結果をみなさまと共有し、当センターでの事業運営に反映させていきたいと考えます。

ご協力、大変ありがとうございました。

今号に添付するものは、各設問を法人格別に集計したものと自由意見のみとします。

尚、ひらつか市民活動センターの HP でも公開いたしますので、そちらをご覧になってください。

*調査期間：2022 年 11 月 15 日（火）～12 月 16 日（金）

*回答方法：Google フォーム、メール、紙媒体

*依頼先：当センターに登録している市民活動団体及び市内 NPO 法人

*設問内容：①団体名 ②設立年月日 ③法人格 ④回答者の役職 ⑤活動分野 ⑥会員数 ⑦平均年齢
 ⑧活動頻度 ⑨財政規模 ⑩主な収入 ⑪主な支出 ⑫情報発信 ⑬現在の課題 ⑭コロナ禍による困難・課題 ⑮困難・課題の相談 ⑯相談した機関 ⑰相談先を選んだ理由 ⑱相談しなかった理由 ⑲自団体の強み ⑳今後の活動に必要なこと ㉑乗り越えられない困難・課題 ㉒必要な支援 ㉓当センターに力を入れて欲しい事柄 ㉔平塚市との協働意思 ㉕平塚市の提案型協働事業 ㉖当センターに期待する具体的な支援策（自由記述） ㉗市民活動支援に関する意見・提案（自由記述）

*集計方法について

- ① 法人格を基準として集計しました。
- ② 数値は件数ではなく%としました。
- ③ 一般/公益社団法人と一般/公益財団法人は両数が少ないため合算しました。
その他については市民活動等であるため任意団体に合算しました。
- ④ 自由記述は基本的にそのまま記載しました（区分は追加した）。
- ⑤ 複数回答の場合の比率は件数ではなく、団体数（回答人数）を基準として算出しています。

例示：設問 1.〇〇の課題について

区分	回答a	回答b	回答c	件数	人数
代表	10	8	5	23	10
件数率	43.5%	34.8%	21.7%	100.0%	
人数率	100.0%	80.0%	50.0%		

NPO 法成立から 25 年 課題は次世代の担い手を育てる仕組み

行政の手が届かないところを市民が気づき支える、そんな市民の動きを後押しするために、1998年特定非営利活動促進法（NPO法）が生まれました。

朝日新聞のアンケートに回答した51団体（大半は兵庫県内に拠点を置く）の現在の課題は、半数超の団体が「活動資金」「人手不足」を挙げ、4割超が「世代交代」を挙げています。背景に浮かぶのは資金不足。人材確保のために給与を上げたいがままならないと言った声や、最も必要なこととして「寄附文化の醸成」を挙げる団体が目立ったとあります。日本NPO学会会長の石田祐・宮城大教授（NPO論）は「社会のNPOへの理解への理解が十分でないなか、資金も人手も不足し、成長の道筋がないままに行政からの委託に頼り続けて『下請け』になる。そんな負のスパイラルに陥っている面がある」その上で「地域内外で企業や団体と関係をつくり、発信力を強めて社会の変化につなげていく必要がある」と指摘されました。（R5.1.17朝刊）

障がい者や生活困窮者支援、ヤングケアラーや子育て支援、環境保全、人権擁護等々、NPOが取り組む多様な活動は今や地域社会になくてはならない存在となっています。次世代の担い手を育てる仕組みづくりも市民の手で始まりつつある今、センターでも企業や各種団体との連携、そして発信力の強化を一層進めていきたいと思います。

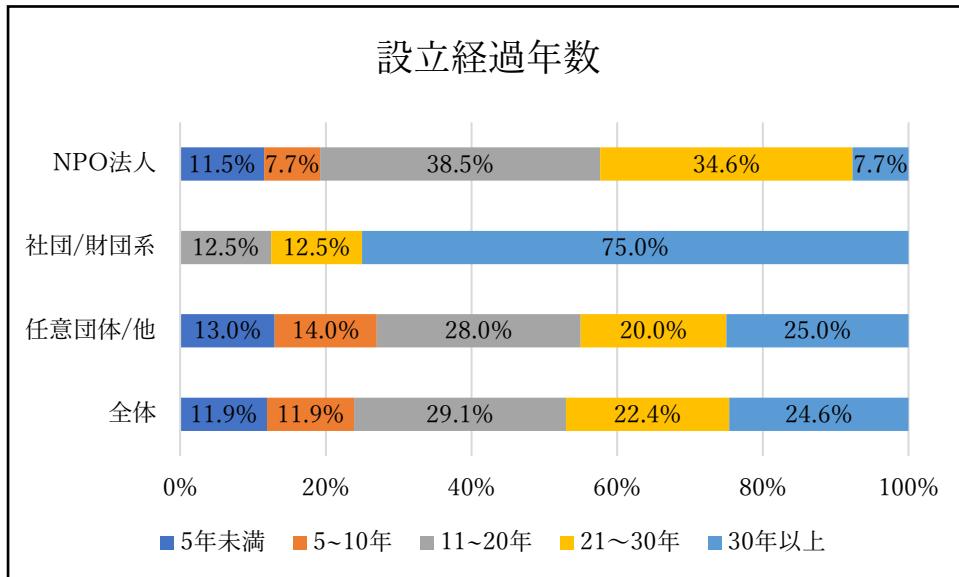
アンケート結果

1.回答状況

配布数	回答数	回収率
363	134	36.9%

センター登録外のNPO法人より3団体の回答がありました。

2.設立経過年数



設立してから11年以上の団体は、NPO法人（81%）任意団体（73%）ですが

30年以上活動しているのは、NPO法人（8%）に対し、任意団体は25%と多くなっています。

5年未満の団体は、NPO法人も任意団体も差異はありません。

3・4.回答者の属性(法人格/役職)

区分	代表	副代表	事務局/ 会計	会員	その他	合計	(法人格)
NPO法人	16		7	3		26	19.4%
一般/公益社団法人	3		2			5	3.7%
一般/公益財団法人	2		1			3	2.2%
任意団体	68	3	14	6	3	94	70.1%
その他	4				2	6	4.5%
合計	93	3	24	9	5	134	100.0%
(役職)	69.4%	2.2%	17.9%	6.7%	3.7%	100.0%	X

回答者の属性は、NPO 法人が 19%、任意団体が 70%、役職別では代表が 69%でした。

任意団体の代表が全体の 51%を占めています。

5.回答団体の分野(法人格別)

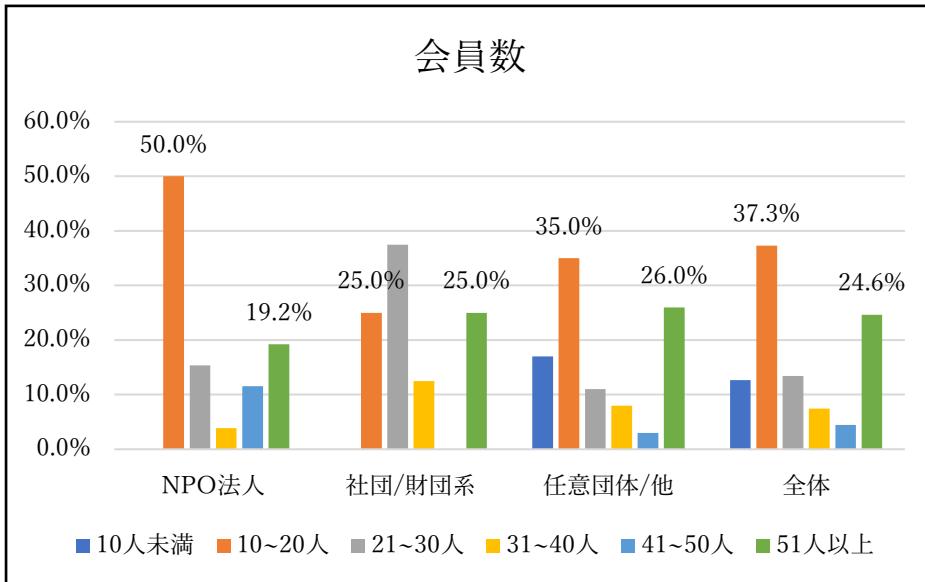
分野	NPO法人	一般/公益 社団法人	一般/公益 財団法人	任意団体	その他	合計	比率
保健、医療又は福祉の増進	15	2		23		40	29.9%
社会教育の推進			1	6		7	5.2%
まちづくりの推進	1			7		8	6.0%
学術、文化、芸術又はスポーツの振興	3			28	2	33	24.6%
環境の保全			1	5	1	7	5.2%
災害救援				3		3	2.2%
地域安全				4		4	3.0%
人権の擁護又は平和の推進				4	1	5	3.7%
国際協力	1			6	1	8	6.0%
男女共同参画社会の形成の促進				1		1	0.7%
子どもの健全育成	1	3	1	7		12	9.0%
情報化社会の発展	1					1	0.7%
科学技術の振興職業	1					1	0.7%
消費者の保護	1					1	0.7%
各号に掲げる活動を行う団体の運営又 は活動に関する連絡、助言又は援助	2				1	3	2.2%
合計	26	5	3	94	6	134	100.0%

活動分野では①保健、医療又は福祉の増進 (30%) ②学術、文化、芸術又はスポーツの振興 (25%)

③子どもの健全育成 (9%) と全体の 60%です。

尚、①観光の振興 ②農山漁村又は中山間地域の振興 ③経済活動の活性化 ④職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援 ⑤その他、都道府県又は指定都市の条例で定める活動、以上 5 分野については、回答が「0」のため除外しました。

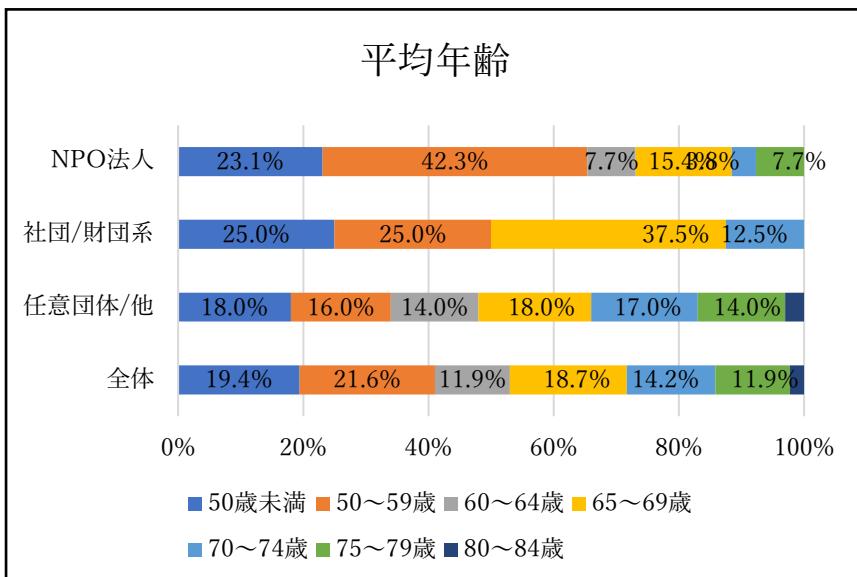
6.会員数



NPO 法人、任意団体共には 20 名以下が 50% 以上です。

51 名以上は NPO 法人 19% に対し、任意団体は 26% と、任意団体が多くなっています。

7.平均年齢

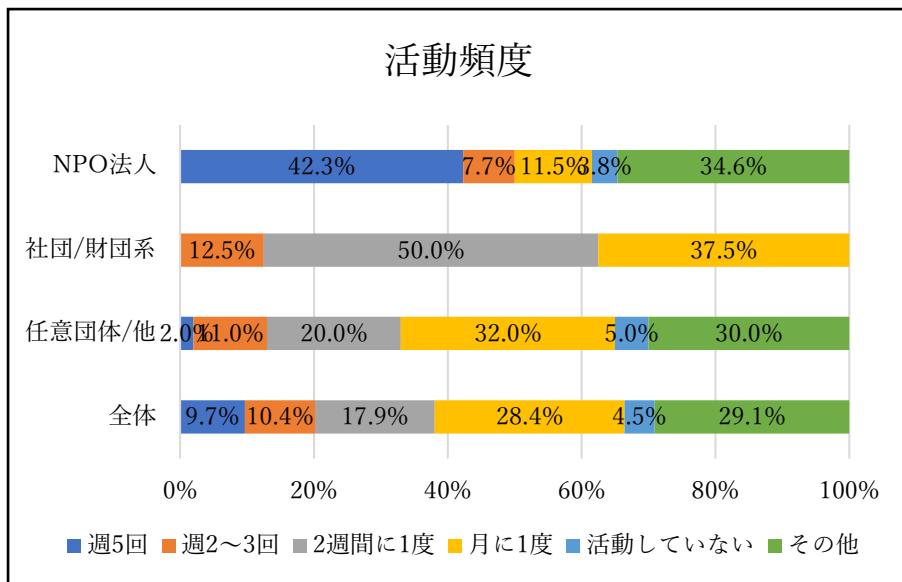


65 歳以上は全体で 47%、NPO 法人は 27% 任意団体は 52% と平均より高いです。

70 歳以上も同様に全体で 28%、NPO 法人は 12% 任意団体は 34% と高くなっています。

60 歳未満は全体で 41%、NPO 法人 65%、任意団体 34%、と比較し若い傾向となっています。

8.活動頻度

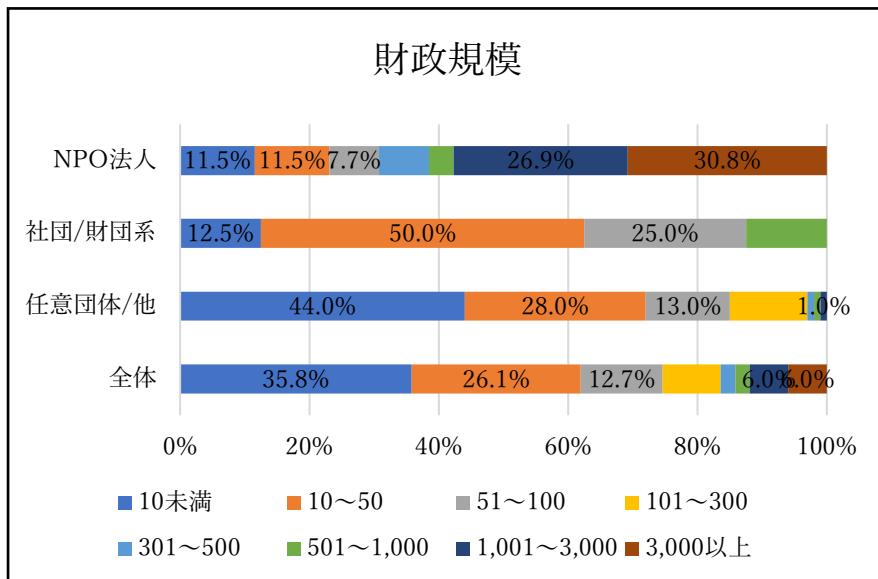


「その他」の回答が多い（全体の 29%）のは、設問に該当しない頻度を具体的に記入されているためです。

NPO 法人は、週 5 日（42%）、任意団体は月 1 回（32%）が最も多いです。

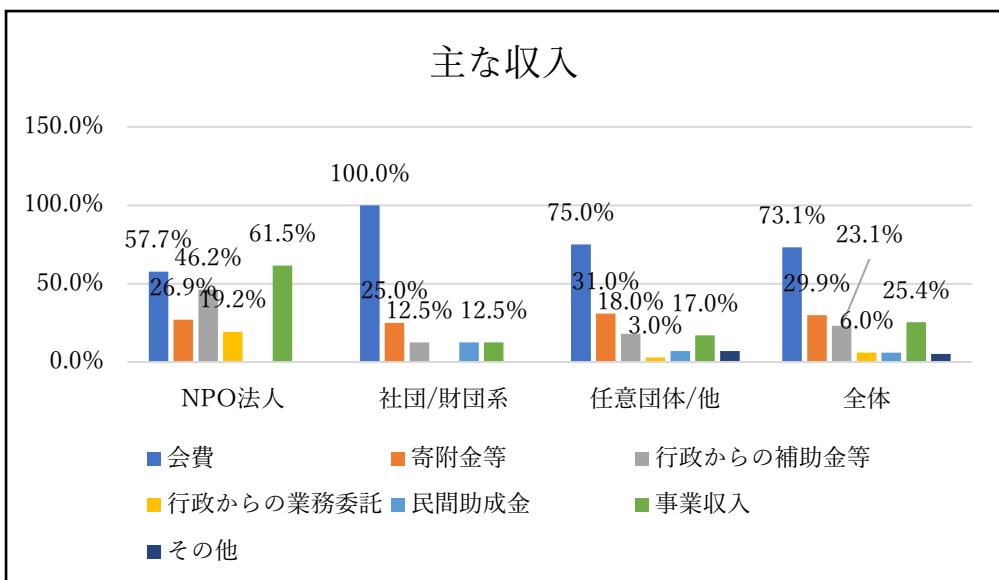
（他の具体例：毎日/不定期/月 3 回/2~3 か月に 1 回/年 60 日等々）

9.財政規模



NPO 法人の財政規模 1,000 万円以上は 58%（全体 12%）、逆に任意団体の 72% は 50 万円以下（全体 62%）となっています。

10.主な収入…複数回答(134 団体から 226 件の回答)



NPO 法人の主な収入は、事業収入が 62%（全体 25%）と最も多く、次いで会費 58%（全体 73%）・行政からの補助金等 46%（全体 23%）となっています。

任意団体は会費が 75% と最も高く、次いで寄付金 31%（全体 30%）です。

11. 主な支出…複数回答(134 団体から 448 件の回答)

区分	人件費	法定福利費	旅費交通費	消耗品費	講師謝金	通信費	印刷費	新聞図書費	賃借料・施設利用料	Web管理費	調査研究費	委託費	接待交際費	広告宣伝費	その他	合計	団体数
NPO法人	17	7	8	13	5	10	7	1	15	3	1	4	2	4	4	101	26
一般/公益社団法人			3	2	1	4	3		3							16	5
一般/公益財団法人	1			1		2	2			1	1				1	9	3
任意団体	18		23	64	30	42	55	5	19	9	3	1	1	9	20	299	94
その他			1	3	3	3	5	1	2	2				2	1	23	6
全体	36	7	35	83	39	61	72	7	39	15	5	5	3	15	26	448	134

主な支出は、全体で消耗品費（19%）印刷費（16%）通信費（14%）以下賃借料、旅費交通費の順です。

NPO 法人は人件費の比率が 17% と最も高くなっています（全体 8%）。

（その他の具体例：レクレーション費/社会福祉施設への寄附/行事の参加費）

12. 情報発信…複数回答(134 団体から 264 件の回答)

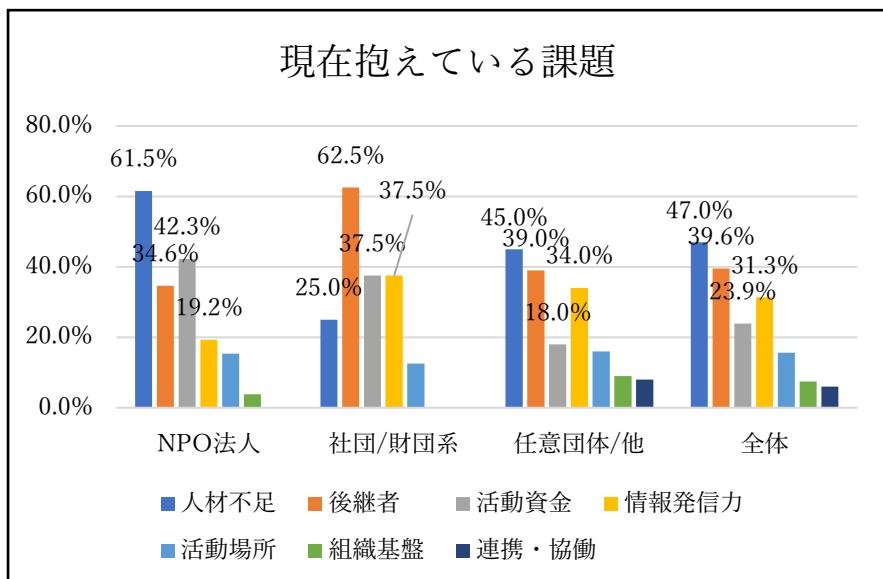
区分	団体Web	Facebook	Twitter	Instagram	YouTube	LINE	ひわつか 市民活動 センター	公共の広 報媒体	民間の地 域情報誌	その他	合計	団体数
NPO法人	22	5	1	3	1	5	10	7	2		56	26
一般/公益社団法人	3	1		1		2	2			1	10	5
一般/公益財団法人	1	1					1	1	1		5	3
任意団体	36	19	4	11	7	17	29	17	6	33	179	94
その他	4	2				1	2	2	1	2	14	6
合計	66	28	5	15	8	25	44	27	10	36	264	134

情報発信ツールは、団体 Web が最も多く全体の 49% であり、NPO 法人では 85% が活用しています（任

意団体は38%)。次いで当センターのWebが全体で33%、SNSの中ではFacebook(21%)とLINE(19%)の使用率が高い傾向となっています。

(その他の具体例：会報/団体新聞/外部への情報発信はしていない等々)

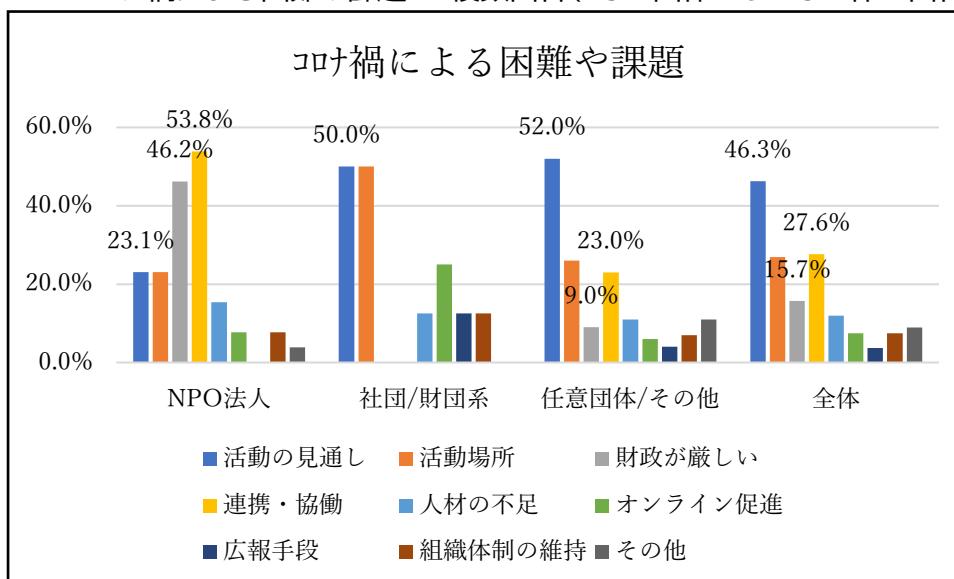
13. 現在抱えている課題…複数回答(134団体から249件の回答)



人材不足と後継者は共通しており、人材不足は全体で47%（NPO法人が62%、任意団体は45%）、後継者については、全体で40%（NPO法人35%、任意団体39%）となっており、次いで活動資金不足についてはNPO法人が42%（全体24%）、情報発信では任意団体34%（全体31%）が課題と考えています。

(その他の具体例：高齢化/新規入会者が少ない等々)

14. コロナ禍による困難や課題…複数回答(134団体から232件の回答)



連携・協働についてNPO法人は54%がしづらくなった、財政が厳しくなったが46%となっています。

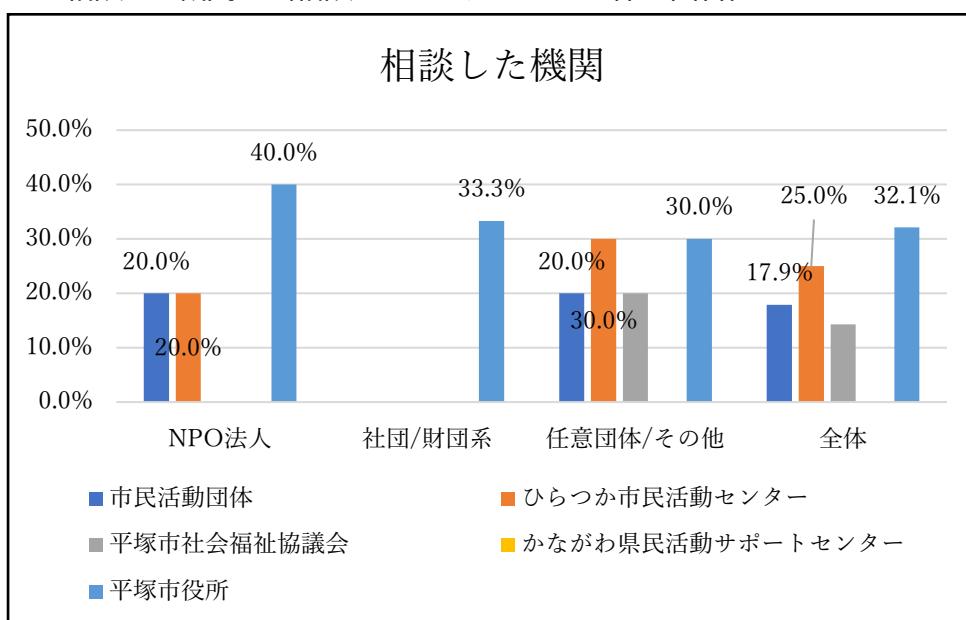
任意団体は活動の見通しが 52%と最も高くなっています。

(その他の具体例：活動時間の短縮・活動場所の人数制限・活動センターが閉館した時は休会にした)

設問 15:設問 14 の相談有無

区分	した	しない	その他	合計	した
NPO法人	5	21		26	19.2%
社団/財団系	3	5		8	37.5%
任意団体/他	20	80		100	20.0%
全体	28	106		134	20.9%

16. 相談した機関…(相談した 28 人から 33 件の回答)



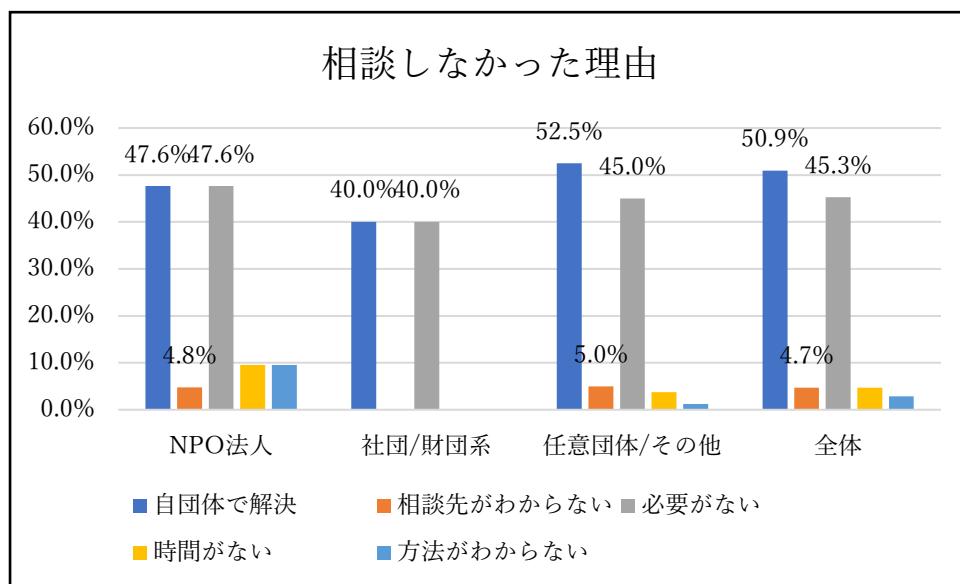
相談した機関は、全体で平塚市役所が 32%、次いで当センターが 25%です。

16-1.相談先を選んだ理由…(相談した 28 人から 49 件の回答)



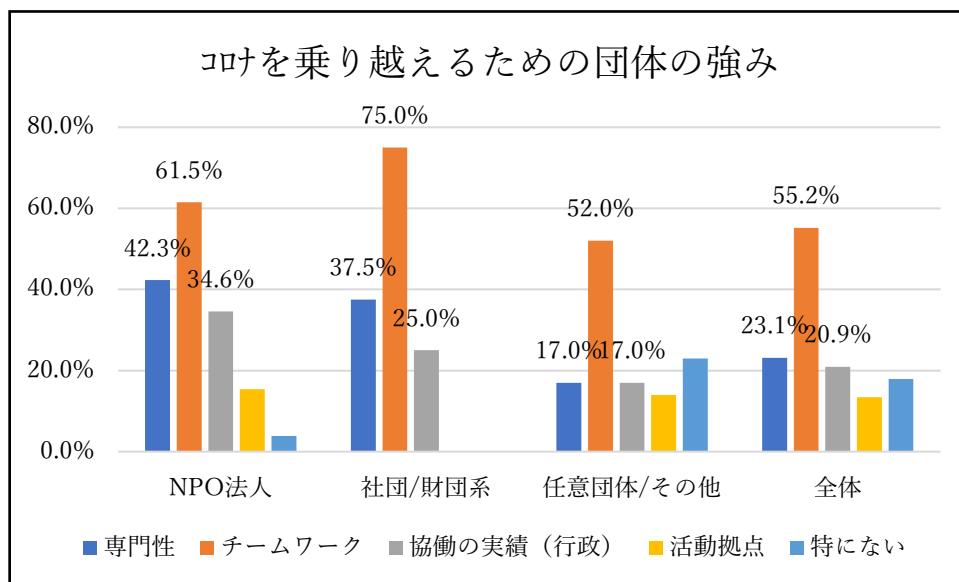
日頃から相談している、が全体で 79%、次いで信頼できるから、が 39%です。
(その他の具体例：保健センター)

17.相談しなかった理由…(相談しなかった 106 人から 124 件の回答)



自団体で解決が 51%、相談する必要がなかったが 45%となっています。

18.コロナ禍を乗り越えるための団体の強み…複数回答(134 団体から 246 件の回答)

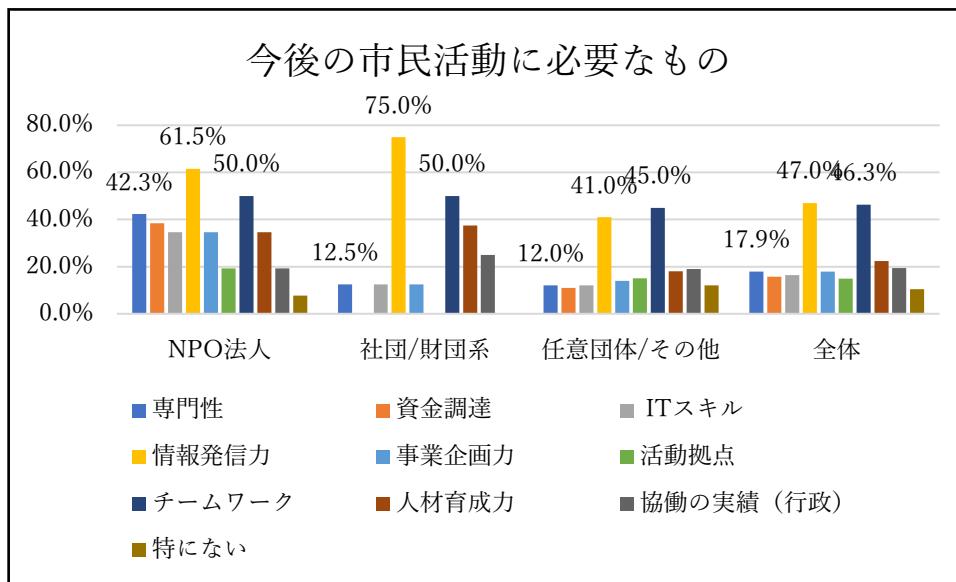


全体に共通しているのはチームワークが 55% と一番高くなっています。

(NPO 法人の 62%、任意団体は 52%)。

以下、専門的なノウハウが 23% (NPO 法人 42%)、協働の実績が 21% (NPO 法人 35%) です。

19.今後の団体活動に必要と思うもの…複数回答(134 団体から 365 件の回答)

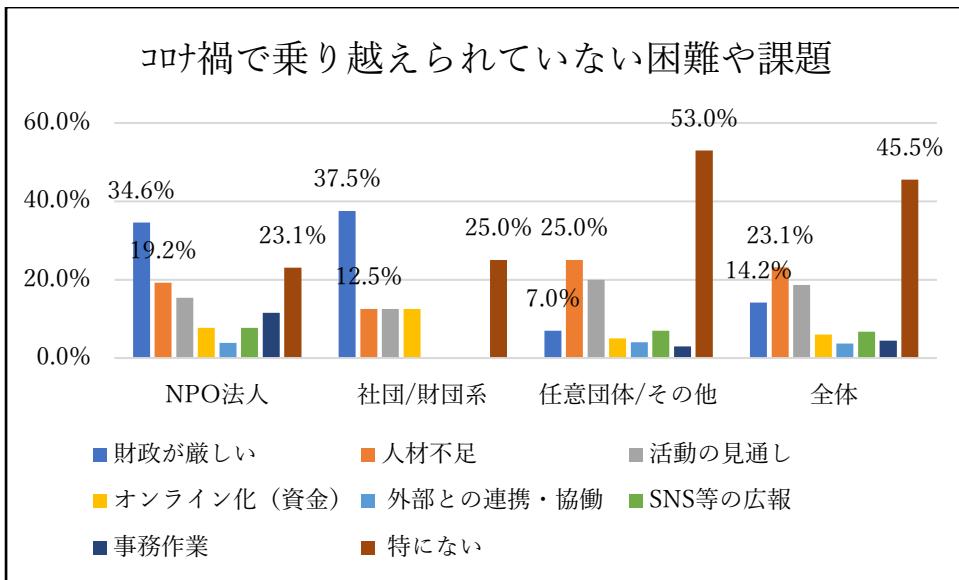


一番高いのが、SNS を含めた情報発信が全体の 47% (NPO 法人 62%、任意団体 41%) となっています。

ついで、メンバー同士のチームワークが 46%、人材育成力は 22% の順となっています。

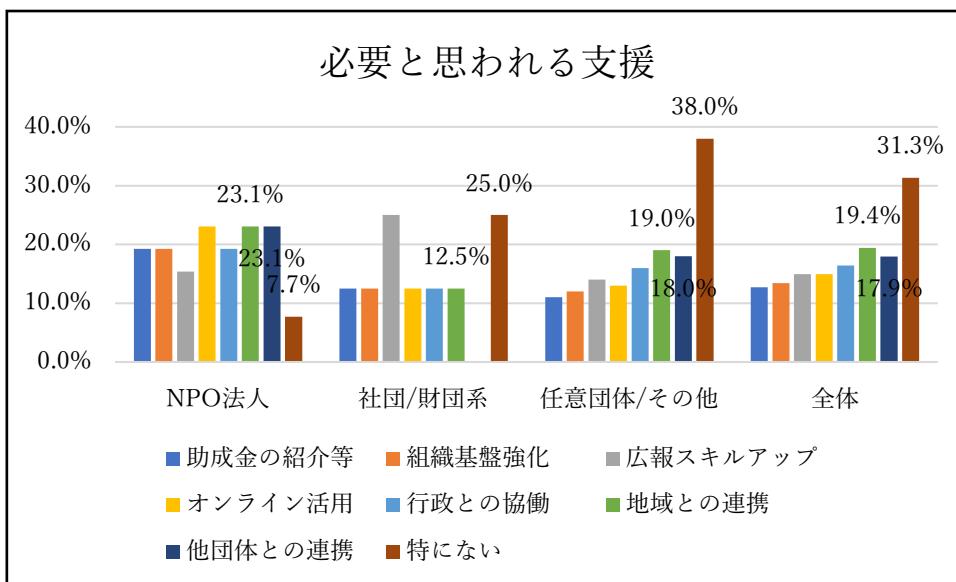
(他の具体的な例：活動メンバーの募集/市民活動が生み出す人生の豊かさを伝える)

20.コロナ禍で乗り越えられない困難や課題…複数回答(134 団体から 177 件の回答)



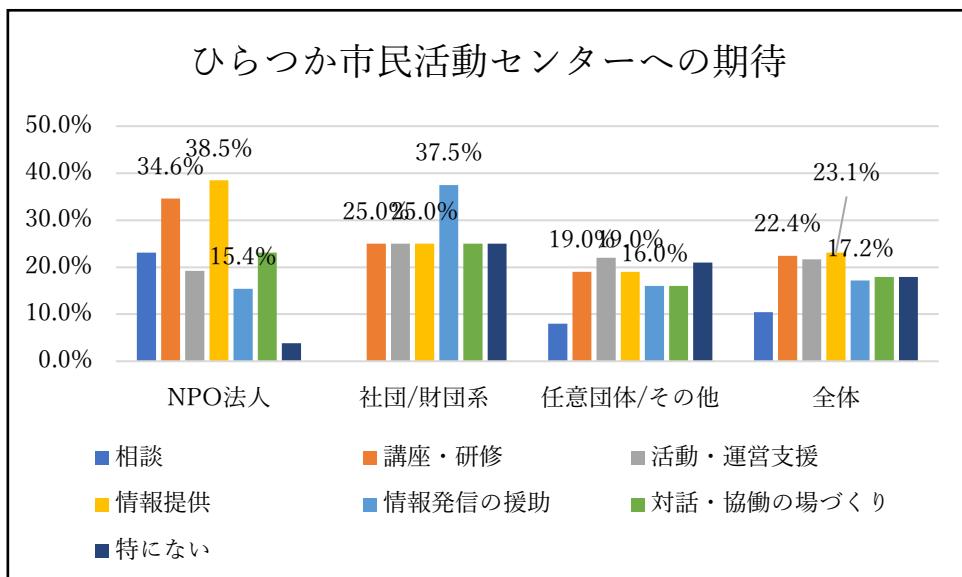
特ないが 46% と最も高くなっています (NPO 法人 23%、任意団体 53%)。次いで人材不足は 23%、活動の見通しが 19%です。

21.必要と思われる支援…複数回答(134 団体から 227 件の回答)



特ないが全体で 31% (NPO 法人 8% 任意団体 38%) です。次いで、地域連携が 19%、他団体との連携が 18% となっています。

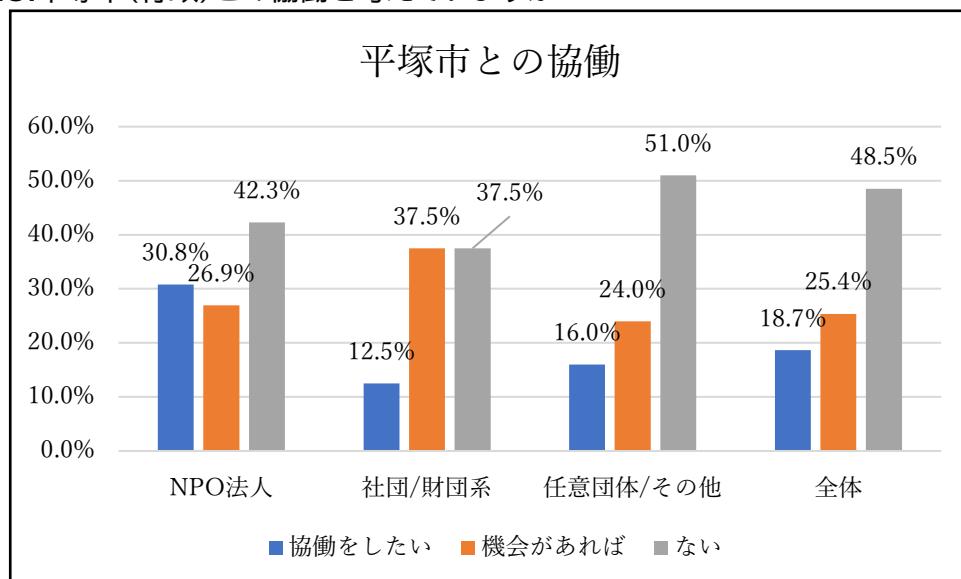
22. ひらつか市民活動センターへの期待…複数回答(134 団体から 186 件の回答)



団体への情報提供が 23%、次いで講座・研修と活動・運営支援がそれぞれ 22%です。

情報提供は NPO 法人 39%、講座・研修が 35% と全体的に高くなっています。

23. 平塚市(行政)との協働を考えていますか



件数では、25 団体が協働をしてみたい、34 団体は機会があればとの回答でした。

具体的には、高齢者支援/子育て支援子ども食堂//国際交流/健康増進/男女共同参画・地域住民への意識調査/災害時のコミュニティ放送/地域防災/施設の運営管理等、多岐に渡っています。

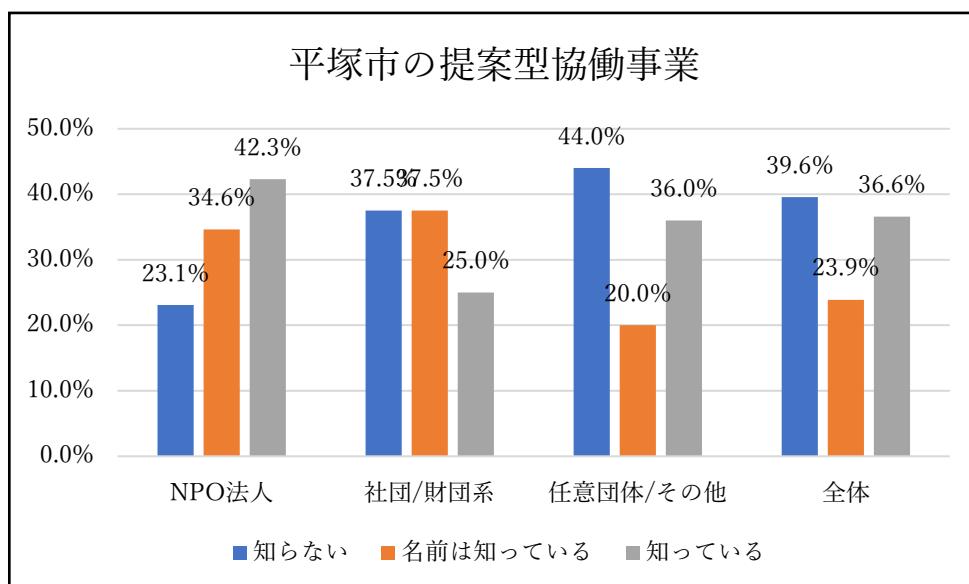
(参考) 協働をしてみたい (25 団体) と機会があれば協働したい (34 団体) の内訳

区分	NPO法人	社団/財団系	任意団体他	合計
代表/副代表	6	1	13	20
事務局/会計	1		2	3

機会があれば協働したい

区分	NPO法人	社団/財団系	任意団体他	合計
代表/副代表	3	1	16	20
事務局/会計	2	2	5	9
会員/その他	2		3	5
合計	7	3	24	34

24. 平塚市の提案型協働事業を知っていますか



提案型協働事業は、全体では知らない（40%）が知っている（37%）を上回っていますが、法人格別では知っているがNPO法人42%と若干高くなっています。

【参考資料】

2019年度実施アンケートとの比較

主な収入		件数		比率	
2019項目	2022項目	2019年度	2022年度	2019年度	2022年度
会費		129	98	38.5%	43.4%
寄付金贊助金協賛金		69	40	20.6%	17.7%
行政からの補助金又は受託事業		39	31	11.6%	13.7%
行政からの業務委託		13	8	3.9%	3.5%
民間助成金		18	8	5.4%	3.5%
事業収入		47	34	14.0%	15.0%
その他		20	7	6.0%	3.1%
合計		335	226	100.0%	100.0%

収入については2019年度と大きな変化は見られません（19年比、会費+補助金/受託事業は+3.0%、事業収入は+1.0%）。

主な支出		件数		比率	
2019項目	2022項目	2019年度	2022年度	2019年度	2022年度
人件費	人件費	18	53	2.6%	11.8%
	委託費				
	法定福利費				
	調査研究費				
消耗品等	事務用消耗品	128	83	18.2%	18.5%
旅費交通費		80	35	11.3%	7.8%
賃借等	Web管理費	170	141	24.1%	31.5%
	賃借料・施設利用料				
	印刷費				
	広告宣伝費				
	事務所経費				
交際費	接待交際費	30	3	4.3%	0.7%
通信費		97	61	13.8%	13.6%
図書費	新聞図書費	57	7	8.1%	1.6%
講師謝金		82	39	11.6%	8.7%
なし	経済的負担はない	4		0.6%	
その他		39	26	5.5%	5.8%
合計		705	448	100.0%	100.0%

支出については人件費（+9.2%）と賃借等（+7.4%）が増加しています。

情報発信		件数		比率	
2019項目	2022項目	2019年度	2022年度	2019年度	2022年度
HP等	団体HP	191	66	52.0%	25.0%
	団体発行物（パンフレット等）				



31%

情報発信は SNS 利用が大幅に増加しています (+20.6%)。中でも、Facebook と LINE の使用率が高いようです。

課題		件数		比率	
2019項目	2022項目	2019年度	2022年度	2019年度	2022年度
人材	人材不足	240	126	56.1%	50.6%
	高齢化				
	後継者がない				
	組織基盤が脆弱である				
拠点	活動場所の確保	16	21	3.7%	8.4%
資金	活動資金不足	60	32	14.0%	12.9%
	安定した収入がない				
情報	情報収集能力不足	71	42	16.6%	16.9%
	情報発信力が弱い				
連携	行政との連携が不足している	26	8	6.1%	3.2%
	地域住民の理解が得られない				
他	その他	15	20	3.5%	8.0%
合計		428	249	100.0%	100.0%

コロナ禍の影響か、活動場所の確保の問題が大幅に増加しています。

各団体からの自由意見

25. ひらつか市民活動センターへの具体的な支援策・53件

区分	具体的内容
企画	SNS 研修、団体間交流の場づくり
企画	いつも貴重な情報ありがとうございます。PC スマホの基本活用の講座に参加したい。みんなでワイワイやっているが初心者ばかりで難しい。23：現在協働している
企画	ボランティアの募集ができなかった。ソリマチの使用方法
企画	以前のような団体や企業との交流会
企画	早くコロナおちついて安心して活動したいです。活動の場を広げてほしい(ボランティア行く場所)
企画	脱炭素の講座・平和の大切さを広報する企画
企画	団体とボランティア希望者とのマッチングの機会の創出、賛助企業等の紹介第三者機関を通した団体の課題等の調査
協働	自治体を通さない地域の課題の改善
協働	こども食堂・学習支援団体のネットワーク構築と情報発信および人材育成 25：プロボノの情報発信と市民団体との連携を支援していただきたいです。
協働	コロナ禍になってからも毎年度講演会を開催したが、延期せざるをえないことがあった。開催にあたって、感染防止のための準備、当日の対応が大変だった。これまで同様、男女共同参画課との共済事業
協働	当該患者の紹介
協働	会報図書館ボランティアを協力事業にしていきたい。同じような活動団体との連携
協働	活動に於いて平塚市、県、国（文化庁）からの関連情報提供やスキルアップ研修への参加
協働	健康劇を市民に活用してもらいたい
協働	健康増進事業、スポーツ振興事業
協働	講演会・学習会の協働
協働	高齢者施設/子育て支援・市民と団体のコラボ・助成金申請の簡素化とハードルを下げる・市民へのボランティア啓発活動
協働	災害時のコミュニティ放送のあり方について
協働	市民の「健康革命」活動に取り組みたい。25 広報を通して活動参加を促して欲しい。
協働	施設の管理・運営
協働	湘南平子どもの森のキャンプ場の再開拓
協働	男女共同参画、国際交流
協働	地域防災について
協働	平塚市 市民相談室、共済生活センター
協働、他	シンポジウムの開催 現状の場所で活動を続けたい

協働、他	のら猫 TNR 活動を通じて地域猫への協働。税理士、司法書士、弁護士等の相談会を年1~2回開催してほしい。
協働、他	地域住民への意識調査（大学施設活用、スポーツ環境、スポーツ活動について他） 25：センターが所有する情報発信システムを団体でも運用できるようにならないか。
施設	20年たってもまだ「市民活動センター」の存在を知らない市民もいるので、ごくごく気楽な団体の楽しい活動をPRするイベントを「活動センターまつり」とは別に駐輪場などでPRするのも良いかなと思います。
施設	運営面については、本当に良く尽力いただき、支援を感謝しています。設備面でできれば、飲み物の自動販売機とラミネート（有料でも）使用可能をお願いしたいです。又雨の日に自転車がぬれるので屋根スペース設置等市の方へ要望していただけるとありがとうございます。
施設	教育会館が改修され、今まであった様々な会館が潰され、教育会館一本に絞られるとの事。活動がしにくくなります。活動場所の確保をお願いしたいです。
施設	現在の活動センターの対応に十分満足しております。特にはありませんがセンターで古書の提供に人気があり、それをさらに拡大した他の物品も手に入れることができるようになるとよいような感じがします。
施設	市民活動センターが使えないときは、休会にしたが、その間は自宅で各自課題図書を読んでいた。まずは何といっても活動場所の提供を頂き、感謝しています。本当にお世話になりますありがとうございます。
施設	週3~4回とても満足、相変わらずこのままでお願いします。
施設	崇善公民館のホールで「大人のための紙芝居上演会」を開きたい！！紙芝居の上演にはベストの広さとアクセスですから。
その他	70周年記念式典(令和5年度)にご協力頂けるとありがとうございます。
その他	イベント等人が多い集まる事が難しかった人が多く集まるイベントが難しい。
その他	コロナの影響で災害ボランティアは行なえていない。活動内容の変更、見直しが大変
その他	コロナ禍中に設立のため特に問題なし
その他	ブロック対応バーホームページなどの活用が常時だれでもできる会にしたい。
その他	引き続き地域との橋渡しをしていただけすると有難いです。
その他	会員の高齢化
その他	人手の確保(殆どの会員が女性の後期高齢化であること)
その他	窓口で業務に携わっている方々には、何時も親切で丁寧に対応していただき感謝しております。ありがとうございます。今後共よろしくお願ひします。
その他	対面せずの相談は難病患者が多い為、団体としての活動がコロナ禍で出来ない。何かあった場合、会として責任が取れないので、活動は積極的に出来ない状況です。
その他	大変お世話になっております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
情報発信	いつもよく考えた企画をありがとうございます。多くの方が興味を持って参加して下さる

	様になるといいなあ。
情報発信	会員増の為の広報支援現状維持の支援で充分です。
情報発信	市民活動への参加者を増やすための施策や市民活動の PR、参加者を増やす施策
情報発信	若い人たちの参加、参画の効果的方法を教えてほしい。
情報発信	情報発信の援助をして欲しい

26.今後の市民活動支援に関する事…26 件

区分	具体的内容
運営	センターの方々の資料や HP 等、発信していて下さって日々の努力が感じられます。今夜も宜しくお願ひします。
運営	ひらつか市民活動センターも設立されて 20 年団体の会員も高齢化してきていますが、なんとかがんばっている状況です。団体同志の交流もされていますが、暮らしやすい安全で魅力的なまちづくりの為に「年ごとの共通のテーマ」などを設け、市民センターまつりで成果発表する等、連携して特色ある市民活動を展開できると思います。
運営	孤独老人対策のために市民活動が弱い感じがします。運動や趣味的なことが多く、もっとメンタル面の対策が必要だと思います。
運営	市民への情報共有や市民への調査を共有しながら進めることができれば、より市民に見合った活動を展開できると考えている。
運営	平塚をこういう魅力的なまちにしたいという大きなテーマを設定し、例えばバラのきれいなまち、防災に強いまち団体の特色や専門性をいかしながら連携してチャレンジする。方向性で支援にいただくのはどうでしょうか。
企画	会員勧誘支援。
企画	活動資金捻出の場の提供
企画	市民活動団体の情報交換、親睦
情報発信	活動センターそのものが、まだまだ十分に知られていないと思います。意義のあるたくさんの活動をもっと広める一助になればいいと思いますし、個人的にももっと利用することを考えたいと思います。
情報発信	私たちの活動の主軸であるバスター・ミナルのフラワーポットのお花の提供、支援などを得るための情報、合唱の練習場所などの情報の入手が得やすくなることを希望します。
情報発信	新会員募集の広報支援して頂ければありがとうございます。
その他	あまりにも広い団体の集まりなので、交流の仕方が出来ない。80 才の平均年令なので活動が限られています。

その他	いつもお世話になっております。会長になったばかりで、まだ市民活動センターさんの支援について、知識が不足しております。これから学ばせて頂こうと思います。どうぞ宜しくお願いします。
その他	いつもご支援ありがとうございます。市民活動団体との横の繋がり
その他	いつも大変お世話になっております。困った時のセンターとして、今後ともよろしくお願ひいたします。
その他	いつも丁寧な御対応を頂きまして助かっております。今後も変わらずのご支援を頂けますようお願い致します。
その他	いつも丁寧にご対応いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
その他	お世話になっておりますのに、あまり協力出来ず申し訳ありません。
その他	ご協力ありがとうございました。
その他	市民活動センターのパソコンでは中国での検索ができません。中国に変換できるといいのですが。できれば、中国語変換ソフトがあると助かります。
その他	実働経験が浅く、何を支援して欲しいか、具体的にまだよくわかりません
その他	他の市民活動をもっと積極的に知る努力をしていこうと思いました。
その他	大人の(小学校高学年以上) を対象に文学作品をメインに、紙芝居で届ける活動を続けています。幼児や子ども対象の紙芝居上演はたくさんのグループがなさっていると思いますが、芸術文化としての文学の香り高い紙芝居上演を大人対象に展開を始めたのは全国的にも私たちが最初だと自負しています、誰かの心に希望の明かりを灯す、をモットーに心を込めて演じ続けていきます。賛同者が増え、仲間に加わってくださる方が増えることを何よりも願っています。混沌、殺伐とした世の中、すさんだ地球を救うのは 芸術文化としての紙芝居の使命だと思っています。さまざまな形で、どうかご支援ください！！
その他	特に、ございません。何かと煩わしい業務にもお心遣いいただき感謝します。健康第一、くれぐれもご自愛ください。
その他	悩み事ですが、会員の高齢化が進みコロナ感染への不安がある中、思うように活動が出来ないで困っています。早くコロナ禍以前の日常が戻ることを願っています。
その他	文化振興団体などの、会場費減免を。